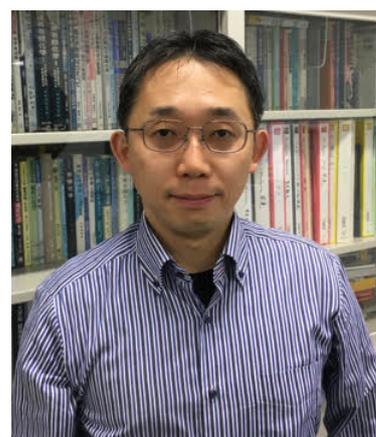


ポルフィリン・フタロシアニンface-to-face型 超分子会合体を利用した触媒開拓

山田泰之 准教授

(名古屋大学 物質科学国際研究センター准教授,触媒科学研究所客員准教授,科学技術振興機構さきがけ「革新的触媒の科学と創製」研究者)



2018年1月15日(月)15:30~16:30

創成科学研究棟 4階セミナー室C

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

要旨:ポルフィリン錯体やフタロシアニン錯体を face-to-face 型に集積させた分子組織は、コンポーネントが協同的に機能することでユニークな触媒能を示す。

本講演では、講演者らが開発したポルフィリン・フタロシアニン face-to-face 型分子組織を用いた触媒開発について述べる。

略歴:1998年3月 東京大学理学部化学科卒業,2000年3月 東京大学理学系研究科化学専攻修士課程修了,2003年3月 東京大学理学系研究科化学専攻博士課程修了 博士(理学),2003年4月-2004年3月 米国 Purdue University 博士研究員,2004年4月-2007年3月 東京理科大学薬学部助教,2007年4月-2009年3月 名古屋大学理学研究科助教,2009年4月-2014年6月 名古屋大学物質科学国際研究センター助教

2014年7月~現在 名古屋大学物質科学国際研究センター准教授,2017年10月~現在 科学技術振興機構さきがけ「革新的触媒の科学と創製」研究者

問合せ先: 触媒科学研究所・高草木達(takakusa@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9114)